

取扱説明書

マイティポンプ

清水用水中ポンプ

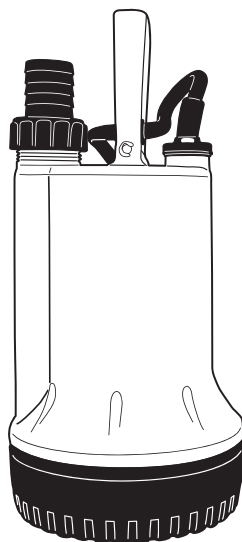
PSP-100S



PSP-100S

汚水用水中ポンプ

PSP-130S



PSP-130S

(ご使用前に必ずお読みください)

- この度は、PSP-100S・PSP-130S商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご利用の前に**必ず本書をお読み**いただき、正しい使用方法をご理解したうえでご使用ください。
誤った使用方法は、事故や故障の原因となります。
- 取扱説明書は大切に保存し、必要な時にお読み下さい。

目次

1. 製品仕様	2
2. 安全上のご注意	2
3. 各部のなまえ	4
4. ご使用前の準備	5
5. ポンプの運転方法	6
6. 保守と点検	8
7. 故障かな?と思ったら	10

1. 製品仕様

商品名	清水用水中ポンプ		汚水用水中ポンプ	
型式	PSP-100S		PSP-130S	
電源	単相・交流 100V			
定格周波数	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
定格電流	1.4A	2.2A	2.1A	3.2A
定格消費電力	135W	205W	200W	300W
定格出力	120W		180W	
揚程	5.2m	7.1m	7.0m	9.7m
吐出量(口径:25mm)	64ℓ/min	73ℓ/min	95ℓ/min	105ℓ/min
最大通過粒径	2mm		3.5mm	
運転開始水位	100mm		100mm	
運転可能最低水位	2mm		15mm	
使用可能水深	3.5m		4.5m	
許容水温	5~40℃			
口径(竹の子)	15、19、25mm		15、19、25、32mm	
ホースバンド	(13~19)(18~32mm)各1個		(13~19)(18~32mm)(21~44mm)各1個	
ガスカート	2個			
コード長さ	約4m		約5m	
本体寸法(幅×奥行×高さ)	159×138×263mm		158×158×273mm	
質量	約4kg		約5.4kg	

2. 安全上のご注意

- ご使用前に、「安全上のご注意」をしっかりと読んでいただき、正しくお使いください。
- 製品を安全に正しくお使いいただき事故等を未然に防ぐため、重要な注意事項を ⚠警告・⚠注意のマークを使用して表現しています。必ずお守りください。

⚠警告と⚠注意の意味は次の通りです。

⚠警告	誤った使い方をすると、死亡や重傷などの重大な結果または傷害に結び付く可能性があります。
⚠注意	誤った使い方をすると、製品の故障や家屋・家具などの物的障害に結び付く可能性があります。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見れる場所に保管ください。

⚠ 警告

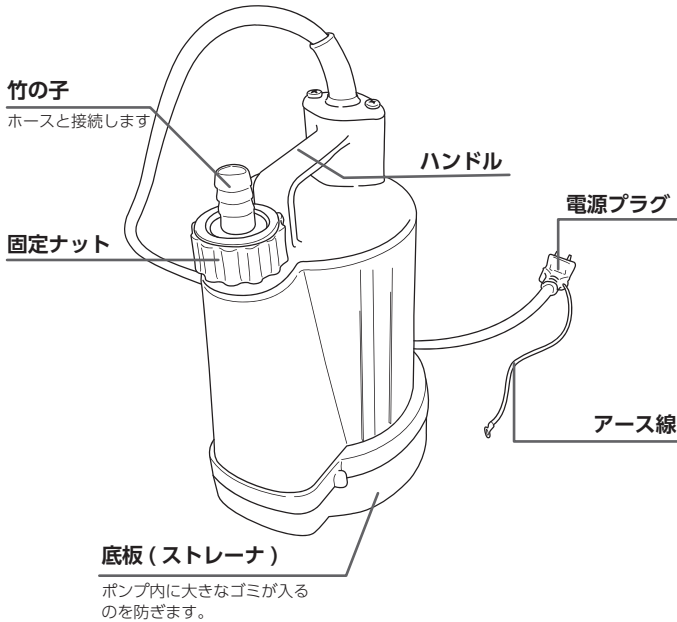
- 使用電源は銘板に表示してある電圧の電源を使用してください。表示以外の電圧の電源で使用するとポンプが十分な能力を発揮出来ない場合や、モーターの焼付等で故障の原因になります。
- 絶対に濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電事故の原因になります。
- 修理技術者以外の人は分解したり修理や改造をしないでください。異常動作をしてケガをしたり、感電、火災の原因になります。
- 人や動物が入っている水の中でポンプを運転しないでください。感電事故の原因になります。
- 必ずアース(接地)してください。
アース線をガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
(電気工事業者によるD種接地工事が必要です。)アース接続が不完全な場合は感電の原因になります。
- 40℃以上のお湯、海水、引火性のあるガソリン、灯油、油、各種溶剤、化学薬品には使用できません。ポンプの故障や火災の恐れがあります。
- ポンプに幼児、子供が触れないように、安全な場所で使用してください。事故やケガの原因になります。
- ポンプが動かなくなったり異常がある場合はすぐに使用を中止し、お買い上げの販売店に点検、修理をお申しつけください。

⚠ 注意

- 電源コードを傷つけないでください。加工したり、引張ったり、束ねたり、重い物をのせたり、はさみ込んだりしないでください。
- 電源コードで水中ポンプを吊り下げないでください。
- 鋭く尖った角などに当てないでください。電源コードが破損し、感電や火災、故障の原因になります。
- ポンプの取扱いは丁寧に行ってください。落としたり、たいたたり、乱暴に扱ったり、火気に近づけると樹脂部の変形や破損から、感電や火災、事故の原因になります。
- 運転中は本体内部に手や指を入れないでください。故障やケガの原因になります。
- 運転中は本体を移動させないでください。故障やケガの原因になります。
- 電源は専用のコンセントをご使用ください。万が一延長コードを使用する場合は、屋外使用に合ったコードを使用し、接続プラグ(コンセント)部は絶対に水に濡れない位置にしてください。
- 使用しないときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてポンプを水中から出してください。絶縁劣化による漏電や、火災の原因になります。
- ポンプは必ず水中に入れて使用してください。空運転(運転可能最低水位以下での運転)はしないでください。故障の原因になります。
- 養魚場や池の循環用等の連続運転には使用しないでください。過熱からの故障、感電や火災の原因になることがあります。

3. 各部のなまえ

清水用水中ポンプ PSP-100S



■付属品

竹の子(各1個)



固定ナット (1個)



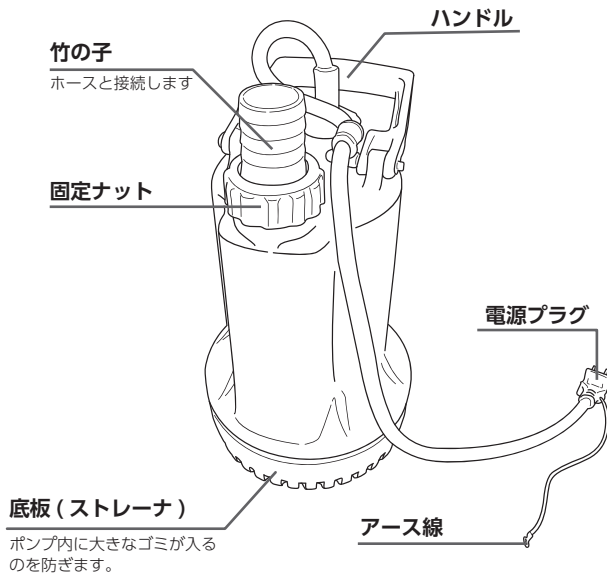
ガスケット(2枚)



ホースバンド(各1個)

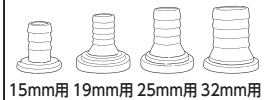


汚水用水中ポンプ PSP-130S



■付属品

竹の子(各1個)



固定ナット (1個)



ガスケット(2枚)



ホースバンド(各1個)



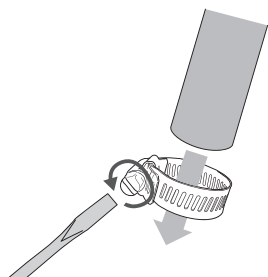
4. ご使用前の準備

⚠ 注意

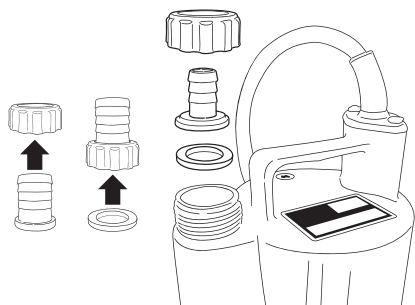
- 使用水温は 5 ～ 40℃の範囲です。凍結の恐れのある場所や 40℃を超える水中では使用しないでください。
- 水以外の液体には使用しないでください。
- ポンプを空気中で運転しないでください。故障の原因になります。
- 土砂やゴミ等の異物を含んだ水を揚水するとポンプの寿命が著しく短くなります。
- 電源ケーブルを持ってポンプを吊り下げないでください。故障の原因になります。
- 本体が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電遮断器が設置されていることを確認してください。
- 感電事故防止の為、ご使用の際は必ずアース（接地）してください。
- アース線やアースクリップに異常のない事を確認してください。
- 延長コードの使用は基本禁止ですが、どうしても電源が届かない場合、0.75mm²×10m以内の延長コードを使用してください。
- 本体の破損やねじのゆるみがないかご確認ください。

ホースの取り付け方

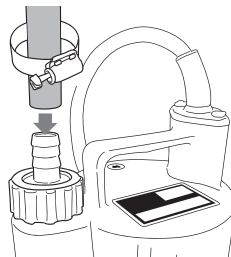
- ①ホースバンドのネジを回し、ホースが通せるように調整し、ホースを差し込んでください。



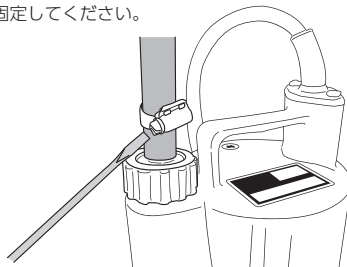
- ②固定ナットに竹の子を入れてからガスケットを入れ、吐出口にねじ込んでください。



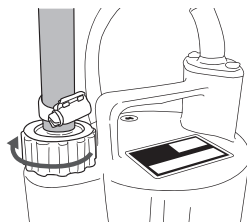
- ③ホースを竹の子の根元までしっかり差し込んでください。差込みが不十分ですと、運転中にホースが外れる場合があります。



- ④ホースバンドのねじを工具で回して、ホースをしっかり固定してください。



- ⑤固定ナットをしっかりとねじ込んでください。

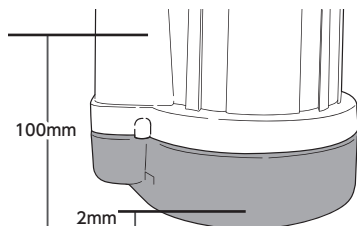


5. ポンプの運転方法

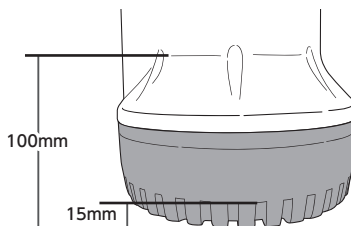
運転水位について

⚠ 注意

- 運転開始時は運転開始水位(100mm)の水深が必要です。
- 水のくみ上げが開始されると、運転可能最低水位になるまで運転可能です。
- 運転可能最低水位(SPS-100S:2mm SPS-130S:15mm)以下で運転しないでください。部品の摩耗、劣化が進行し故障の原因になります。



SPS-100S



SPS-130S

ポンプの運転について

⚠ 警告

- 使用電源は、銘板に表示してある電圧の電源を使用してください。
表示以外の電圧の電源で使用するとポンプが十分な能力を発揮せず、モーターの焼付やポンプの故障の原因になります。
- 必ずアース(接地)してください。アースしていないと感電の原因になります。
- アース線をガス管に接続しないでください。爆発の恐れがあり、事故の原因になります。
- 人や動物が入っている水の中でポンプを運転しないでください。感電事故の原因になります。
- 40℃以上のお湯、海水、引火性のあるガソリン、灯油、油など、また各種溶剤、化学薬品には使用できません。ポンプの故障や火災の恐れがあります。

⚠ 注意

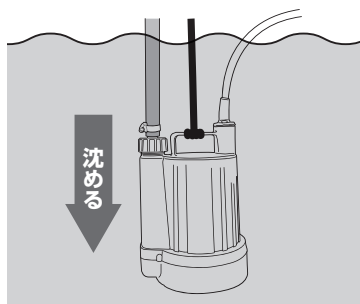
- 養魚場、池の循環用などの連続運転には使用しないでください。過熱から故障、感電や火災の恐れがあります。
- 使用する前に電源を接続し、ポンプに異常がないかテスト運転してください。(テスト運転時間は、5秒以内にしてください。)

■ポンプを水中に沈めてください。

- ポンプのハンドルにロープを結び付けて、ロープを持ってゆっくり水中に入れてください。

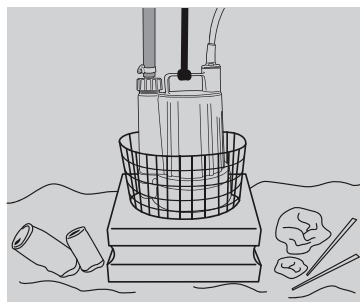
△注意

ポンプを横にして、内部の空気を抜いてください。空気があると水をくみ上げません。



■ポンプを垂直に安定させてください。

- ポンプを入れた水底が泥や軟弱な土砂地の場合は、ポンプを直接底に置かないで、ポンプの下にブロックやまくら木などを敷き、ポンプを安定させてから運転してください。
- 大きな固形物が多い場合は、ポンプのまわりに金網などのゴミよけを取り付けてください。

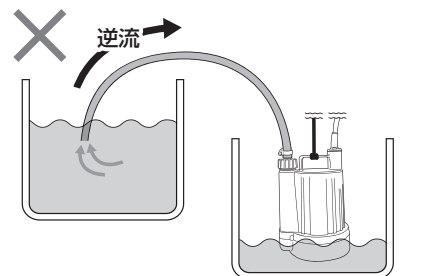


■過熱保護装置（サーマルプロテクター）について

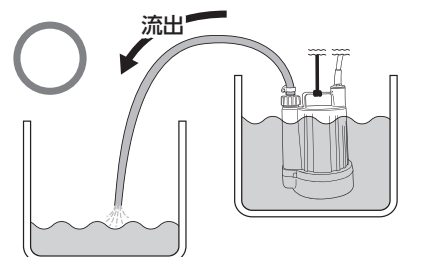
- ポンプにはモーター保護の為、過熱保護装置が内蔵されています。何らかの原因で過負荷運転となり、モーター温度が上昇した場合、過熱保護装置が作動してポンプが停止します。過熱保護装置が作動してポンプが停止した時は、電源プラグを電源コンセントから抜き、過負荷の原因を取り除いてください。その後モーターを冷却させてから運転を再開してください。

■ホースの吐出口について

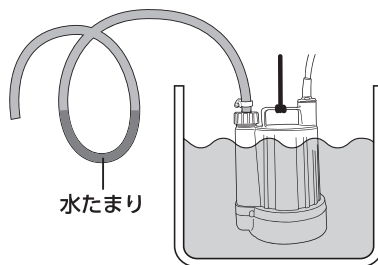
- ホースの先端が吸水源の水面より高い位置で水中に入っている場合、ポンプの運転を停止すると、サイホン作用によりポンプ側に水が逆流します。



- ホース先端が吸水源の水面より低い時は、ポンプの運転を停止してもサイホンの作用で水の吐出（流れ）が止まらないことがあります。



- ホースの中間に曲がりや折れが無いようにしてください。
吐出ししない原因となります。



- 電源プラグを専用のコンセントに差し込んでください。

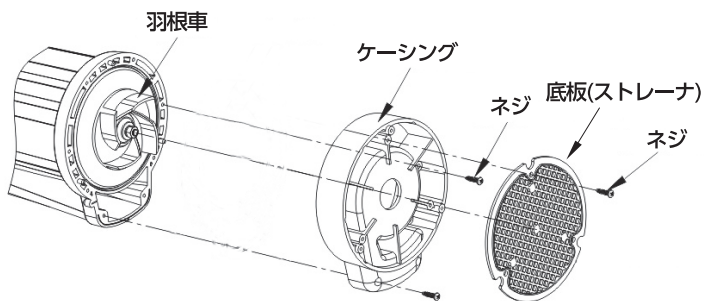
6. 保守と点検

⚠ 警告

- 保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

吸込口の清掃 (PSP-100S)

- ①吸込口の底板 (ストレーナ) を取り外します。
- ②底板 (ストレーナ)、羽根車に詰まったゴミ等を取り除いて、きれいに洗浄してください。

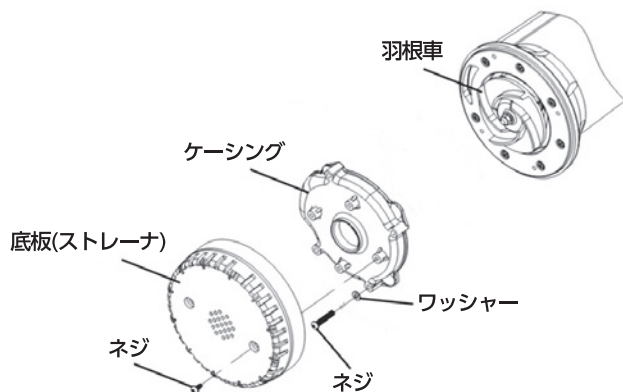


洗浄後は手で羽根車が軽く回る事を確認の上、分解の逆の手順で組立ててください。

- ③元通りに組立ててください。

吸込口の清掃(PSP-130S)

- ①吸込口の底板(ストレーナ)を取り外します。
- ②底板(ストレーナ)、羽根車に詰まったゴミ等を取り除いて、きれいに洗浄してください



洗浄後は手で羽根車が軽く回る事を確認の上、分解の逆の手順で組立ててください。

- ③元通りに組立ててください。

点検

■各部取付けネジの点検

- ネジ等のゆるみがないか確認してください。もしゆるみがある場合は締め直してください。

■使用後のお手入れ

- ポンプをご利用になった後はホースを外し、ポンプ内の水を出してください。
- ポンプの汚れは、布等で拭き取るか、洗剤を薄めて水で拭き取るかしてください。
- 特に電源コードについては、点検を兼ねて常にきれいな状態を保つようにしてください。

■使用後の保管

- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子様の手の届く範囲や落下の恐れのあるところは避けてください。

7. 故障かな？と思ったら

不具合状態	不具合原因	対処・処置
ポンプが回らない	停電している	電気工事店または電力会社に連絡する
	電圧が低すぎる	
	電源プラグのほずれ	確実に接続する
	羽根車にゴミがからむ	ゴミを取り除く
ポンプが運転中に停止する	本体の空気が抜けていない	水位を上げて中の空気を抜く
	水温が高い	水温を下げる
	電圧が低下している	配線を太くし、長さを短くする
	羽根車にゴミがからむ	8～9 ページの【保守と点検】に そってゴミを取り除く
吐出量が少ない	底板（ストレーナ）にゴミが付着	ゴミを取り除く
	ホースが詰まっている	ホースがつぶれていないか点検し、 曲がりを少なくする。
	本体の空気が抜けていない	水位を上げて中の空気を抜く

※これらの点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店に相談ください。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

保証書と修理サービス

保証書（保証規定）

お買い上げの商品を本取扱説明書にしたがって、正常なご使用状況で万一故障が発生した場合は、本保証書の記載内容により無償修理いたします。

型式	PSP-100S・PSP-130S	品名	清水用水中ポンプ・汚水用水中ポンプ	
お客様	お名前：			
	ご住所：〒			
	電話： — —	FAX： — —		
保証期間	お買い上げ日			年 月 日から
	1年間			
販売店	販売店名：			
	住所：〒			
	電話： — —	FAX： — —		

無償修理を受けるための条件および手続きと保証範囲

- (1) 本保証書をご提示の上、お買い上げの販売店又は弊社コールセンターにご依頼ください。
- (2) 保証書に記入した内容（お買い上げ日、販売店）を確認できる納品書やレシート等をご提示ください。
- (3) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in japan.
- (4) 本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次補償に対する保証はいたしません。

■次の場合は保証期間内でも有償修理となります

- (1) 本保証書のご提示がない場合。
- (2) 本保証書にお名前、お買い上げ日、販売店名の記載がない、あるいは字句等を書き換えられている場合。
- (3) 取扱上の不注意、取扱説明書の記載事項を守られなかったことによる故障および損傷の場合。
- (4) 消耗品の交換・修理
- (5) 天災・地変（火災・地震・水害・塩害・落雷・その他天災地変・公害・煤煙・薬品・鳥ふん・異常電圧など）による故障及び損傷。
- (6) ご購入後の輸送、移動時の故障及び損傷。

■保証書の保管

- ・保証書は、よくお読みになった上で、お客様のお名前、ご住所、お買い上げ日、販売店等の必要記載事項については恐縮ですが、お客様でご記入いただき、納品書とともに大切に保管してください。
- ・本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

修理サービスについて

■修理を依頼されるときは

- ・修理はお買い上げ販売店または下記の弊社コールセンターにご相談ください。
- ・保証期間経過後の修理は、修理により機能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて承ります。

フローバル株式会社 コールセンター  0120-455-802